

< 都市住民等との交流を実施している事例 >

「ふれあいまつり」を開催し、集落の魅力をPR

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	徳島県美馬市西大谷奥 <small>みましにしおあたにおく</small>			
協定面積 12 ha	田 (7%) 水稻	畑 (93%) 野菜・たばこ・そば	草地	採草放牧地
交付金額 147万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員報酬費		4%
		視察研修費・集落行事等経費・事務費		17%
		鳥獣害対策費		19%
		水路・農道管理費		5%
		多面的機能増進活動費		5%
協定参加者	農業者 24人			

2. 取組に至る経緯

本集落は、野菜・たばこ・そばを中心とした農業経営を行ってきたが、農業者の高齢化やイノシシ被害などにより農業者の耕作意欲を減衰させていた。

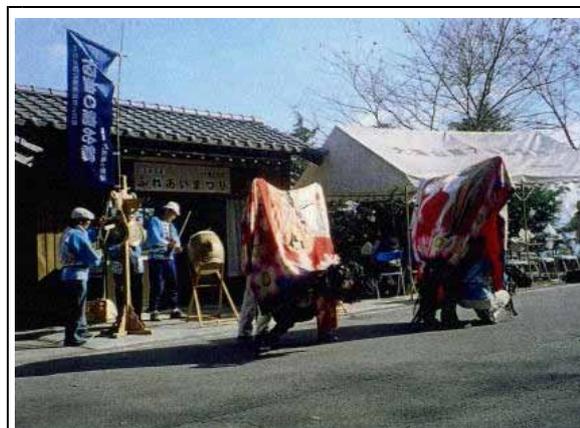
そこで、集落協定を締結し、鳥獣害対策を実施するとともに、そば加工・販売を直売所で実施し、農作物に付加価値をつけて販売、農業祭や加工体験会などを開催し、都市住民との交流により、集落の活性化と魅力をPRを行う計画を策定した。

3. 取組の内容

- ・野菜・そば・大豆等については、系統出荷以外にも地域内にある直売所を有効活用するとともに、直売所運営協議会と連携し、「ふれあいまつり」を行った。
- ・トタン等を使用した侵入防止対策と箱ワナを使用した有害駆除対策の両面から鳥獣被害防止対策を行った。
- ・水路・農道については、年2回の管理活動の他に修繕が必要な箇所については、協定参加者で随時修繕を行っている。



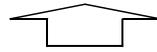
そば挽き・そば打ち体験



「ふれあいまつり」の様子

[集落の将来像]

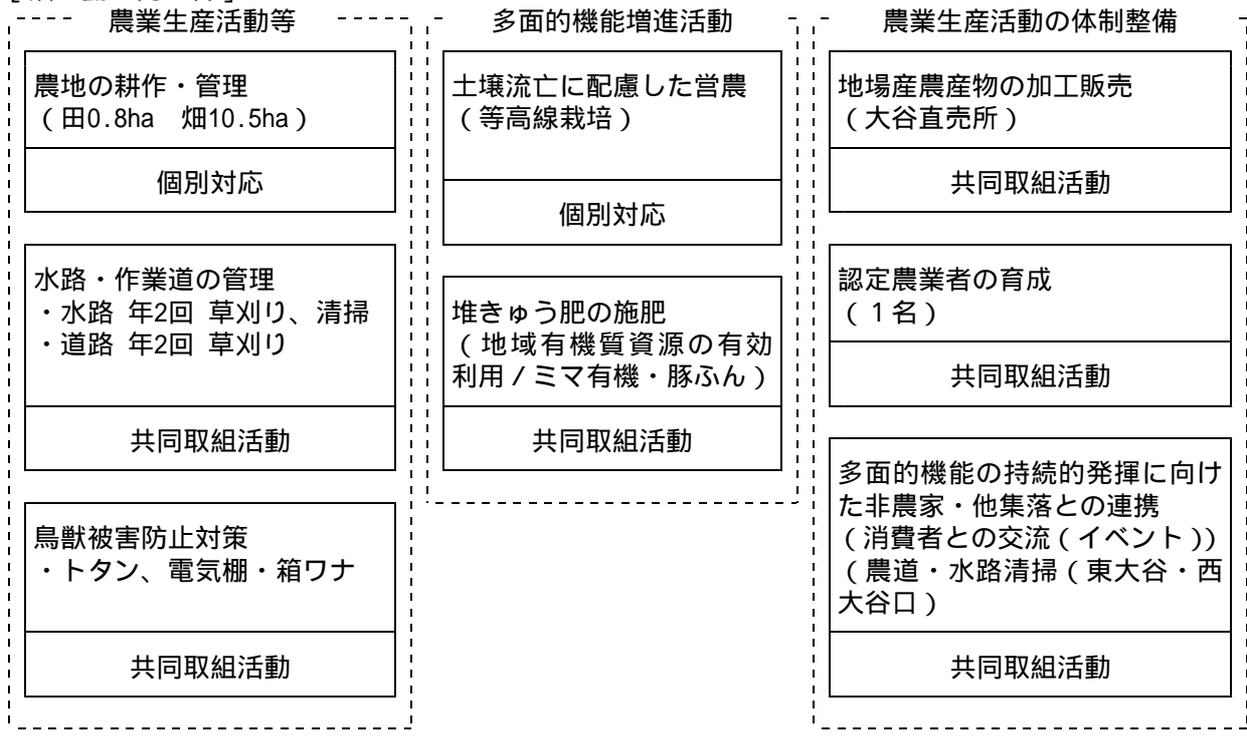
後継者が戻るような魅力ある集落づくりをすすめて、他業種に従事しながらも農地を管理できる体制づくりをめざす。
集落活性化施設などでイベントを開催し、都市住民など集落外の人との交流を図ることで、集落を活性化させる。



[将来像を実現するための活動目標]

集落営農検討 鳥獣被害対策の実施 農業祭・収穫祭・各種イベントについての検討
農道等の補修 農産物加工の新商品の開発検討

[活 動 内 容]



集落外との連携(大谷直売所運営協議会)
ふれあい祭りを開催し、集落協定としても積極的に参加

4 . 取組による変化と今後の課題等

- ・集落協定内で直売所を有効利用しようとする機運が高まった。また、消費者との交流から地域のPRが図られた。
- ・今後は、そばの作付面積拡大とそば粉・そば等の販売促進が課題。

[平成20年度までの主な成果]

ふれあい祭りの開催による消費者との交流(H20.11.22そば挽き体験・獅子舞・直接支払パネル展示)
(目標: 実績:)
農道・水路清掃における非農家との連携(H20実績9名)
農道の補修(2箇所 L=100m, L=30m)
直売所での加工品の販売(そば粉・梅干し H20販売実績84千円)
他県視察研修(愛媛県内子町 大瀬530高地集落・内子フレッシュパークからり)